

都道府県の人口と増減率

都道府県	人口(万人)	増減率(前年比%)
北海道	525.0	▲0.68 (27)
青森県	124.6	▲1.31 (46)
岩手県	122.7	▲1.12 (43)
宮城県	230.6	▲0.40 (12)
秋田県	96.6	▲1.48 (47)
山形県	107.8	▲1.15 (44)
福島県	184.6	▲0.98 (38)
茨城県	286.0	▲0.59 (22)
栃木県	193.4	▲0.61 (16)
群馬県	194.2	▲0.50 (16)
千葉県	735.0	0.27 (7)
東京都	625.9	0.08 (1)
神奈川県	1392.1	0.71 (4)
新潟県	919.8	0.24 (1)
富山県	222.3	▲1.00 (39)
石川県	104.4	▲0.66 (25)
福井県	113.8	▲0.50 (16)
山梨県	76.8	▲0.78 (32)
長野県	81.1	▲0.80 (33)
岐阜県	204.9	▲0.70 (29)
静岡県	198.7	▲0.51 (18)
愛知県	364.4	▲0.43 (13)
三重県	755.2	0.21 (5)
滋賀県	178.1	▲0.58 (21)
京都府	141.4	0.11 (6)
大阪府	258.3	▲0.31 (10)
兵庫県	880.9	▲0.04 (8)
奈良県	546.6	▲0.33 (11)
和歌山県	133.0	▲0.66 (25)
徳島県	92.5	▲1.05 (40)
香川県	55.6	▲0.86 (35)
愛媛県	67.4	▲0.84 (34)
高知県	189.0	▲0.46 (14)
福岡県	280.4	▲0.46 (14)
佐賀県	135.8	▲0.88 (36)
熊本県	72.8	▲1.09 (42)
大分県	95.6	▲0.59 (22)
鹿児島県	133.9	▲0.93 (37)
沖縄県	69.8	▲1.15 (44)
全国	12616.7	▲0.22 (9)

※2019年10月1日時点。数字は増減率の順位、▲はマイナス

総人口 1億2616万人

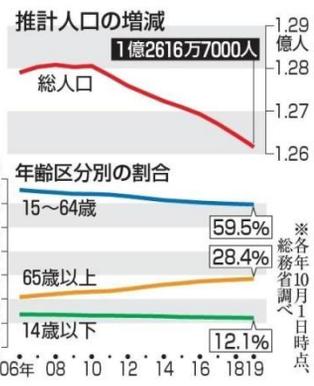
総務省19年推計

40道府県の人口が減らない。少す一方、増加は東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)を含む7都県にとどまり、一極集中傾向も変わっていない。49万人で14.7%増

15〜64歳 働き手は最低

総務省が14日公表した2019年10月1日時点の人口推計によると、外国人を含む総人口は前年より27万6千人少ない1億2616万7千人だった。9年連続のマイナスで、数字は比較可能な1950年以降で最大の働き手の中心となる15〜64歳の生産年齢人口は750万7千人で、全体に占める割合は0.2%減少の59.5%と最低を更新した。

が過去最大



2020年4月15日 朝刊

人口が減った静岡など40道府県のうち、減少率が最も高かったのは秋田の1.48%。減少率は26道府県で前年より拡大しており、拡大幅は福井の0.19%が最も大きかった。静岡は減少率0.43%で、前年より0.01%縮小した。

と、東京圏に愛知、滋賀、沖縄3県を加えた7都県が前年より増加した。増加率のトップは東京都の0.71%。減少率は26道府県で前年より拡大しており、拡大幅は福井の0.19%が最も大きかった。静岡は減少率0.43%で、前年より0.01%縮小した。

① 2019年10月1日時点の日本の総人口は約何万人ですか。

約[]万人

② ①と同じ時点の静岡県の人口は約何万人ですか。また、人口は増えていますか、減っていますか。

約[]万人 (増えている・減っている) ←○をつける

③ 記事の見出しの□とリード文(最初の5行)の□には同じ漢字2字の言葉が入ります。「記事で伝えたいこと」を考えて、あてはまる言葉を書きましょう。

年 組 名前

解答例

都道府県の人口と増減率

都道府県	人口(万人)	増減率(前年比%)	順位
北海道	525.0	▲0.68	27
青森県	124.6	▲1.31	46
岩手県	122.7	▲1.12	43
宮城県	230.6	▲0.40	12
秋田県	96.6	▲1.48	47
山形県	107.8	▲1.15	44
福島県	184.6	▲0.98	38
茨城県	286.0	▲0.59	22
栃木県	193.4	▲0.61	24
群馬県	194.2	▲0.50	16
千葉県	735.0	0.27	3
東京都	625.9	0.08	7
埼玉県	1392.1	0.71	1
茨城県	919.8	0.24	4
千葉県	222.3	▲1.00	39
東京都	104.4	▲0.66	25
神奈川県	113.8	▲0.50	16
静岡県	76.8	▲0.78	32
愛知県	81.1	▲0.80	33
岐阜県	204.9	▲0.70	29
長野県	198.7	▲0.51	18
山梨県	364.4	▲0.43	13
静岡県	755.2	0.21	5
東京都	178.1	▲0.58	21
千葉県	141.4	0.11	6
東京都	258.3	▲0.31	10
東京都	880.9	▲0.04	8
東京都	546.6	▲0.33	11
東京都	133.0	▲0.66	25
東京都	92.5	▲1.05	40
東京都	55.6	▲0.86	35
東京都	67.4	▲0.84	34
東京都	189.0	▲0.46	14
東京都	280.4	▲0.46	14
東京都	135.8	▲0.88	36
東京都	72.8	▲1.09	42
東京都	95.6	▲0.59	22
東京都	133.9	▲0.93	37
東京都	69.8	▲1.15	44
東京都	510.4	▲0.07	9
東京都	81.5	▲0.55	20
東京都	132.7	▲1.05	40
東京都	174.8	▲0.53	19
東京都	113.5	▲0.71	30
東京都	107.3	▲0.69	28
東京都	160.2	▲0.74	31
東京都	145.3	0.39	2
東京都	12616.7	▲0.22	

※2019年10月1日時点。数字は増減率の順位、▲はマイナス

総人口 1億2616万人

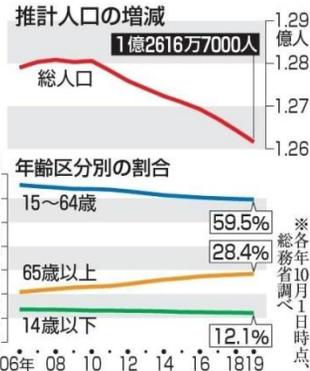
総務省19年推計

15〜64歳 働き手は最低

40道府県の人口が減らない。少す一方、増加は東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)を含む7都県にとどまり、一極集中傾向も変わっていない。49万人で14・7%と、割合は過去最低だった。

総務省が14日公表した2019年10月1日時点の人口推計によると、外国人を含む総人口は前年より27万6千人少ない1億2616万7千人だった。9年連続のマイナスで、数字は比較可能な1950年以降で最大の働き手の中心となる15〜64歳の生産年齢人口は750万7千人で、全体に占める割合は0・22%減の59・5%と最低を更新した。

が過去最大



2020年
4月15日
朝刊

と、東京圏に愛知、滋賀、沖縄3県を加えた7都県が前年より増加した。増加率のトップは東京都の0・71%。減少率は26道府県で前年より拡大しており、拡大幅は福井の0・19%が最も大きかった。静岡は減少率0・43%で、前年より0・01%縮小した。

と、割合はいずれも過去最高。14歳以下は1521万人で12・1%と割合は過去最低だった。都道府県別に見ると、少分を上回った。

人口が減った静岡など40道府県のうち、減少率が最も高かったのは秋田の1・48%。減少率は26道府県で前年より拡大しており、拡大幅は福井の0・19%が最も大きかった。静岡は減少率0・43%で、前年より0・01%縮小した。

総人口のうち日本人は48万7千人減の1億2373万1千人。外国人は21万1千人増えて243万6千人となり、増加数は過去最大。人手不足を背景に外国人労働者を受け入れる動きが広がっていることなどが影響したとみられる。

① 2019年10月1日時点の日本の総人口は約何万人ですか。

約[1億2616]万人

② ①と同じ時点の静岡県の人口は約何万人ですか。また、人口は増えていますか、減っていますか。

約[364]万人 (増えている・減っている) ←○をつける

③ 記事の見出しの口とリード文(最初の5行)の口には同じ漢字2字の言葉が入ります。「記事で伝えたいこと」を考えて、あてはまる言葉を書きましょう。

減少

年 組 名前